

Kids' Interior in Paris

パリの子どもインテリア

ジュウ・ドウ・ポウム 著
édition PAUMES



SHUFUNOTOMOSHA

Oscar

maman : Florence Bories



ピュアなホワイトカラーの子ども部屋には
おだやかな時間が、ゆっくりと流れるよう。
オスカルくんとお兄ちゃんのリユカくんのために
ママは、白をベースにしたインテリアにしました。
時が移ろいでも変わらない、美しさを大切にしながら
これから大きくなる男の子たちの成長にあわせて
アレンジしやすい空間に、デコレーションして。
オスカルくんは、ママというのが大好き。
お仕事でもいつもそばに、おとなしく一緒にいます。



オスカルくん 5か月
le travail de maman : créatrice
de PIGMÉE



ベビーにぴったり、コットンのようなピュアな空間

エッフェル塔まで見渡せるモンマルトルのアパルトマンに暮らす、オスカーくんファミリー。ママのフローランスは、テキスタイル雑貨ブランド「ビグメ」を立ち上げて、子どもと大人の世界の調和を大切にコレクションを発表しています。パパのロマンは、インターネット関連会社の経営者。素敵なデコレーションのコツは、白をベースに使うことというママ。アトリエ風の家具やのみの市での掘り出し物、手づくり雑貨など、ぬくもりのあるものを取り入れて、ソフトな雰囲気心をかけています。



上：男の子たちのママだけれど、クローゼットはいつでもきれいにかわいくしたいというママ。クローゼットの内側には、サーカスをテーマにしたトル・ド・ジュイ柄の壁紙を貼って。右ページ左上：「ボンボワン」のジャケットと「フィラメント」のシューズは、シックなブルーグレーの色がお気に入り。



右上：「ボンボン・バザール」で見つけた竹の鳥かごと、「無印良品」のボール紙でできた動物。左下：マダガスカル伝統的な赤ちゃん用のゆりかごは、マダガスカル出身のおばあちゃんが家族から引き継いだもの。右下：天井から吊り下げたぶらんこに座る人形は、ジェス・ブラウンの作品。バスケットにたくさん入っている「ビグメ・ドール」は、子どもたちのイマジネーションをふくらませるおもちゃ。





左上：上のフロアと簡単に行き来ができるよう、このらせん階段を取り付けました。右上：リュカくんの成長を記している柱。右中：はじめて作った「ビッグメ・ドール」と、ネパールの伝統的なプリント手法を使ったブランド「KETIKETA」のベッドリネン。左下：白いジャージのレギンスは、インドの民族衣装のパンツ、チュリダーに似たスタイル。右下：ママが手づくりしたパッチワークラグ。



窓からエッフェル塔が見えるリビングは、家族みんなが集まる落ち着いた場所。壁にはおじいちゃんから引き継いだバトリス・ジャンの英さんエヴリンの肖像画を飾りました。

